

# シンポジウム

## 「火災後の建造物の調査・診断および鑑定の今後に向けて」

主催：日本建築学会 防火委員会 火災診断補修小委員会

後援（予定）：日本損害保険鑑定人協会、土木学会、日本損害保険協会、日本火災学会、日本建設業連合会、建材試験センター、日本建築総合試験所、ベターリビング

日時：2016年1月25日（月）14:00～17:00

会場：建築学会 301+302 会議室（東京都港区芝 5-26-20）

2015年2月に当委員会は「建物の火災診断および補修・補強方法 指針・同解説」（以下「指針」）を出版し講習会を開催した。この分野では初の指針として注目され、近畿開催では定員を上回る申し込みがあるなど、多数の参加者が来場した。

当委員会は本年度より指針改定に向け、ブラッシュアップ活動を開始した。従前、実施していなかった使う側からの意見を盛り込むため、方向性、ポイント、必要性などを使用例、使い勝手の良し悪し等の情報から模索し、有用な知見を得ることを目的として、今回のシンポジウムを開催する。幅広く、他分野の方々のご意見を聞くことが重要であると考え、日本損害保険鑑定人協会、土木学会の方々から情報提供をお願いするとともに、意見交換の場を設けた。ここでは、指針の現状、調査結果が鑑定に役立つ例・足らない例、建物以外の調査診断例などの情報提供を受け、建築関係者と他分野参加者の意見を引出し、本指針の利用者側のニーズを捉えることを本シンポジウムの目的とする。

### <プログラム（予定）>

司会：山崎順二（浅沼組） 記録：森田武（清水建設）、高橋晃一郎（大林組）

- |             |                                    |                                     |
|-------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 14:00-14:05 | 1.主旨説明                             | 大橋 宏和（竹中工務店）                        |
| 14:05-14:20 | 2.火災による RC 造の損傷について                | 黒岩秀介（大成建設）                          |
| 14:20-14:30 | 3.火災による S 造の損傷について                 | 近藤史朗（清水建設）                          |
| 14:30-14:50 | 4.調査者としての火災調査および診断手法               | 春畑仁一（日本建築総合試験所）                     |
| 14:50-15:20 | 5.損害保険登録鑑定人の立場からの火災診断の指針の利用方法とその所感 | 藤得 牧（日本損害保険鑑定人協会 理事、東京損保鑑定（株）代表取締役） |
| 15:20-15:50 | 6.火災を受けた鋼橋の診断補修ガイドラインの紹介           | 大山 理（土木学会 小委員会 幹事長、大阪工業大学 准教授）      |
| 15:50-17:00 | 7.質疑・要望・意見交換                       |                                     |

参加費：会員 3,000 円、後援団体会員 3,500 円、会員外 4,000 円、学生 1,000 円（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：60名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <https://www.ajj.or.jp/index/?se=sho&id=1323> よりお申し込みください

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬

TEL 03-3456-2051 E-mail：[ichinose@ajj.or.jp](mailto:ichinose@ajj.or.jp)